

入院診療計画書② (産婦人科) 予定帝王切開術 (前日入院)

ID: 患者ID

氏名: 氏名

新規作成日: 新規作成日

日時		12月31日	1月1日		1月2日	1月3日 ~ 1月7日	1月8日
経過		入院時	手術当日 (術前)	手術当日 (術後)	手術1日目	手術2日目~6日目	退院時
目標		不安の表出ができる 手術について理解できる	不安の表出ができる 身体的準備ができています 精神的準備ができています	産褥経過が良好である 子宮復古が正常である 疼痛コントロールについて理解できる	産褥経過が良好である 子宮復古が正常である 合併症について理解できる	産褥経過が良好である 子宮復古が正常である 合併症の症状・所見がない 感染の徴候がない 創部に問題がない 母乳栄養の確立ができる 自己管理ができる 母子関係の確立ができる	産褥経過が良好である 子宮復古が正常である 日常生活の注意点について理解できる
	注射		手術前より点滴を開始し、手術翌日まで点滴をします。		持続中の点滴を終了する予定です。		
	投薬				痛み止めを内服します。		
	検査	入院時に尿検査があります。			朝、採血をします。	3日目 朝、採血をします。 6日目 朝、採血をします。 6日目 朝食前に尿検査をします。	
	処置	体重を測定し、お腹と陰部の毛を除毛します。	手術着に着替え、弾性ストッキングを履きます。 手術室に行く前に胎児心音を確認します。	血栓予防のため間歇的空気圧迫法を行います。	尿管を抜きます。 点滴終了後は針を抜きます。	5日目、体重測定をします。 6日目に退院診察があります	
モニターで胎児心音を確認します							
	手術室看護師の訪問があります。麻酔科医師の診察があります。	血栓予防のため弾性ストッキングを履きます。					
食事	産科食が出ます。 食べ物は21時以降、飲み物は0時以降禁止です。	飲んだり食べたりできません。		朝から水が飲めます。昼からおかゆがはじまります。	2日目の朝より産科の普通食になります。15時と20時におやつがでます。 5日目の夕食はお祝い膳がでます。		
清潔	入浴の制限はありません。	手術前までに洗面を済ませておきましょう。		洗面、歯磨きは介助します。体拭き、着替えを介助しながら行います。	2日目に医師が手術の創を診察し問題なければ、シャワー浴できます。		
排泄	24時間の尿・便の回数を確認します。(0時~24時)	手術室で、尿管を挿入します。		トイレまで歩行ができることを確認したら、尿管を抜去します。その後はトイレにて排泄を行います。	24時間の排泄回数を確認します。		
活動	安静度	院内の移動は自由です。(但し、検温や処置の時間は病室にいらしてください。)	手術室まではストレッチャーにて移動します。	帰宅後3時間が経過したら、身体の向きを変えることができます。	朝よりベッドを挙げて体を起こします。初めて歩く時には、看護師が付き添います。	病院内のみ移動が自由です。	
	リハビリ	基本的にリハビリの予定はありません。					
観察事項	お腹の張り、破水、出血の有無を確認します。		定期的(基本：朝と夜)に検温や点滴の管理を行い、異常の早期発見に努めます。また、子宮の収縮を観察し、出血の有無を確認します。乳汁分泌の状態を観察し、スムーズに育児が習得できるようお手伝いさせていただきます。				
確認事項	手術の同意書、説明書の内容の同意を確認します。赤ちゃんの耳の検査同意書を確認します。	手術前にチェックリストを用いて眼鏡やアクセサリーの有無を確認します。					
指導	必要物品を確認し、病棟案内をします。手術についての説明を行い、入院診療計画書をお渡しします。お腹の張り、破水、出血の症状がありましたらスタッフにお知らせください。マニキュア、ペディキュアは落としましょう。	アクセサリーなど外れるものは、外しておき家族に預けましょう。	ベッド上での安静が継続されます。母児の状態によっては授乳を開始していきます。	母児の状態に合わせて母児同室を開始し、授乳など育児を開始していきます。	産褥指導(月・木曜日)があります。赤ちゃんの状態を見て沐浴指導を行います。	退院後の生活の注意点について説明します。次回外来のご案内をします。異常徴候が出現した時には病院へ連絡して下さい。	
コメント	・母児の状態によって、急にスケジュールが変更になる場合があります。 ・不安なことや不明点がございましたら、産婦人科スタッフにお声かけください。						